

阿部教授定年退職に寄せて

平成 26 年（2014 年）3 月をもって阿部教授は定年退職をむかえます。阿部教授の長年の功績を称えて本紀要を阿部教授定年退職祈念号といたしました。

ご承知の通り、経営学部長である阿部教授は、図書館長、情報学研究科科长、明星学苑理事、大学評議員、経済学部学部長補佐、経営学科主任、そのほかに TAMA NEXT リーダープログラム塾長など数多くの役職・要職を歴任されました。

研究生活においては、Claremont Graduate University の Drucker School of Management で客員研究員を経験し、World Academy of Productivity Science (WAPS) の Fellow を受けております。また、放送大学の客員教授としてテレビ講座を担当しております。

さて、阿部教授との出会いは、昭和 59 年（1984 年）に遡ります。当時小生は、明治大学に勤務しており、その際に指導した院生が九州東海大学（現、東海大学熊本校舎）に奉職し、その彼の結婚披露宴と二次会で阿部教授と面識を持ったのが最初です。二次会のスナックでは、席の片隅で体に似合わずもの静かに、ひたすら飲酒している好青年という印象でした。二度目の出会いは、情報学部（当時は、青梅キャンパス）が完成年度を迎える 1 年前（平成 8 年 4 月（1996 年）に、大学院情報学研究科設置メンバー要員として阿部教授が赴任され、廊下でばったり会い驚かされたものです。当時は、設置準備委員会で人事を含めてものごとが総て決定されどのような方が採用されたのかは後から知らされたものでした。阿部教授が、情報処理演習（現在の情報リテラシー）の科目を担当することとなりましたが、阿部教授は情報処理演習のような演習科目を教えた経験がないので、参考にしたいと小生の講義を毎回きちんと参観され、生真面目である教授という印象が大変強く感じられました。それ以来現在まで、阿部教授と小生は、教務委員長と学科主任（情報学部経営情報学科）、学部長補佐と学科主任（経済学部経営学科）、学部長と学科主任（経営学部経営学科）というように迷（？）コンビを組み苦楽を共にして教育活動はもとより学部・学科運営における同志のような存在になっております。

阿部教授の一番の貢献は、偏差値がボーダーフリーになった情報学部経営情報学科（現、経営学部経営学科の前進）を立て直すために、青梅キャンパスから日野キャンパスに移転をし、経済学部内に経営学科を設置する改組を行い、その後、経営学部経営学科としての独立運動を押し進め、今や偏差値 45（代ゼミ）、就職率 90% 以上という明星大学の中でも注目されるほどの学科に育て上げたことに尽きると思います。このように、阿部教授は、本当の意味で経営学部経営学科の「中興の祖」であるといっても過言ではありません。

終わりにあたり、阿部教授の益々のご活躍を祈念するとともに、今後とも経営学部発展のために、遠くからご指導・ご鞭撻を賜りたいと思っております。

経営学科主任
光 成 豊 明